

【法令等】

- ・日本国憲法
- ・教育基本法等の関係法令
- ・学習指導要領
- ・東京都教委の教育目標・主要施策
- ・文京区教委の教育目標・主要施策

【学校教育目標】

- 人間尊重の精神をふまえ、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健康な大塚小学校の児童の育成を目指す
- ・知性を高め個性豊かな児童「よく考える子」
 - ・社会性を身に付け実践力のある児童「助け合う子」
 - ・明朗で意思の強い健康な児童「やりぬく子」

- ・児童の実態
- ・保護者の願い
- ・地域住民の願い
- ・社会の要請

【学校経営方針】

知・徳・体の調和のとれた発達を目指し、感動と発見がたくさんある学校に！

【目指す学校像】

- ・児童自身が学ぶ楽しさを実感し、成長の喜びを感じることでできる学校
- ・協働して創意工夫された指導が行われ、活力のある学校
- ・保護者、地域が協力して教育活動に携わる学校

【目指す児童像】

- ・進んで学び、物事をじっくりと考える子
- ・自分で考えを伝え合う子
- ・互いのよさを理解し、思いやりをもって接する子
- ・善悪の判断ができ、約束を守る子
- ・明るいあいさつをし、自信をもって生活する子
- ・最後までねばり強く取り組む子

【目指す教職員像】

- ◎カリキュラム・マネジメント能力をもち、計画的に教育活動に取り組める教員
- ・児童や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくことのできる教員
- ・いじめや問題行動を早期発見 早期対応し、組織的に解決できる教員
- ◎公立学校職員としての自覚をもった教職員
- ・誠実に保護者や地域住民に対応できる教職員
- ・サービスの厳正を遵守する教職員

【学力向上に関わる中期的目標】

- ・学習指導要領による教育課程の編成、実施が適切に行えるよう、一人一人の教員が常に研修に励み、指導法の改善に取り組む。
- ・日常の授業の充実のための基盤となる、児童が安心して自己実現ができるような学級経営を行う。
- ・言語活動を重視し、児童が自分の考えの交流を活発にし、互いに聞き合う学習過程を重視した授業改善に取り組む。
- ・ICTを積極的に活用し、エバーグリーン視点による視覚化 焦点化 共有化を図った授業を展開し、配慮の必要な児童も興味・関心をもって学ぶ分かりやすい授業を実施する。
- ・T.Tによる授業や少人数指導、隣接学年による合同授業等を意図的・計画的に実施し、学習形態や指導体制を工夫して、児童の学習環境を多様にする。目標が2学年区切りの教科等については、身に付ける資質・能力を明確化し、教科間の関連付けや内容の体系化を図り、柔軟な指導形態や学習活動展開を工夫する。
- ・東京ミニマムによる基準をもとに、繰り返し学習や基礎的・基本的な学習内容の定着を図る学習を充実させて未定着の内容については、立ち戻って学習し、確実な定着を図る。
- ・学校図書館の充実を図る。図書館司書を活用した読書指導と調べ学習の拠点となる学校図書館の活用を積極的にする。

授業改善に向けた工夫

指導内容・指導方法	教育課程の編成	校内研究・研修	評価活動	家庭や地域社会との連携
<p>●「問題解決型」授業の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定→自力解決→交流対話・話し合い→振り返り <p>●言語活動を充実させ、思考力や判断力とともに表現力を伸ばす指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考える・考えを伝え合う。(書く・話す) ・ノート指導の工夫。 <p>●落ち着いた雰囲気の中で学習を進めるための「学習規律」の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はい・立つ・です」の徹底と話形提示による学習の仕方の系統化。 ・「大塚スタンダード」での共通した指導。 <p>●学習への意欲や効果をも高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年との合同学習を柔軟に実施～小規模校である本校にて良い刺激を受け合う工夫。単元配当計画を作成し学習のねらいを明確にした習熟度別指導、交流・交授授業。 ・ブロック担任制による協力的な指導や支援 <p>●基礎基本定着・考える力を伸ばす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年を越え未習得箇所へ立ち戻る～「できる・わかる」自信と満足度向上 ・展開の中で必ず「考える場・共有する場」を設け、指導案に明記。 <p>●新教科書に合わせた「年間指導計画」検証と改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の各指導内容をどの単元で指導するか位置付け、確実に力をつける指導計画を立てる。～専門家招聘特別授業や異学年合同授業を実施する単元と時期、及び、各教科と道徳(別欄)や総合、食育、人権・キャリア教育との関連を明記し、指導の効果を高める単元構成を工夫する。 <p>●算数科における「東京方式習熟度別指導ガイドライン」に沿った指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティームティーチングや少人数指導の積み重ねがある本校の強みを生かし、習熟に応じたきめ細かい指導の推進。 ・推進委員会<基本方針・実施計画・達成水準>による取組。定期的な「東京ベーシックドリルテスト」と「学期末計算到達度調査」による継続的な実態把握と個別補充指導。個々に応じた教材開発や学習進度の工夫。 	<p>●授業時数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の精選 ・委員会活動とクラブ活動を6校時終了後に実施 ・短縮時程(清掃なし)を適宜入れて、会議等による授業カットをなくす。 <p>●柔軟な指導計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業公開(6回)開催による20時間を教科等に配分～実態に合わせて進度を調整し、補充・定着・発展等必要な指導に充てる。 <p>●活動時間捻出の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員打合せを放課後にとり、朝の活動15分を捻出。～繰り返し学習や読書等を授業時数外に行う。 ・分掌組織の精選と、会議の日程や時間の調整～放課後学習の時間を増やし個別補充指導を行う。 <p>●ブロック担任制の効果的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック会議を毎週開き、支援の必要な活動について配置と時間割の調整を行う。(シフト表作成) 	<p>●校内研究主題「自分の思いや考えを表現する児童の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話す力を活かした授業の実践 ・話す力を向上させ、各教科での学習、活動を充実させる～ ・主体的・対話的で深い学びの実現 <p>●学習指導力向上研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職による授業観察と指導～毎学期の実施と指導 ～全担任が校内研究授業実施 ～地区公開講座、区教委訪問に向けた指導案作成と指導 ・先行研究資料のデータベース～区小研の各教科部で学んだことを職員間で共有し、最新の研究を普段の授業に生かす。 ・職員相互の授業参観と助言(OJT) <p>●ICT活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室に配備されている電子黒板や投影機、デジタル教科書等を効果的に活用し授業を行う。 ・「プログラミング的思考」を養うための学習活動を行う(総合的な学習の時間・クラブ活動)。 <p>●インクルーシブ教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共生社会実現に向けて、障害や高齢者に対する理解を深める体験を設定し、差別根絶に向けた態度と行動力を育てる。(パラスポーツ交流、白杖体験、認知症、高齢者交流) 	<p>●学習指導に関する評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化～単元や各時間の目標を明確にして授業に臨む。 ～目標に準拠した規準により、児童の学習状況を評価する。 ～その評価によって、達成に必要な支援の手立てを講じる。 ～その時間中での定着を図る。 ・文書「通知表の見方」の作成と保護者会での説明 ～評価や評定への信頼を得る <p>●調査の結果分析と指導改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区(4年)都(5年)全国(6年)学力調査 ・本校「期末漢字計算到達度調査」～傾向や課題からの授業改善 ～到達度の低い児童への補充 ・文科省「新体力テスト」(全学年)東京都「統一体力テスト」(5年)～「体力向上推進プラン」活用 ～課題として明らかになった補うべき力を強化する取組 ～体育講師の専門性をいかす。 <p>●多面的な方法による学校評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業公開や各行事でのアンケートで得られる感想や意見。 ・教職員自らによる毎学期の評価や児童と保護者によるアンケートをもとに検討する「自己評価」。 ・学校運営連絡協議会の「学校関係者評価」。 ～保護者全体会で報告し、次年度計画に反映させるだけでなく、年度内に順次取り入れて普段の授業改善を図る。 	<p>●学校公開実施(年6回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動について保護者や地域住民からの理解と信頼、一層の協力を得る機会とする。 ～特色ある取組や一緒に考えた内容<学習、心(道徳)、安全(セーフティ教室)>等を大勢参加が見込まれる土曜に公開する。 <p>●情報の発信と説明責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、学年、保健、給食より等配布文書の内容を吟味して発行 ・頻繁なHP更新、学習成果発表会実施等積極的に教育活動を公開 <p>●家学連携による家庭の教育力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習、生活規律についての指導内容を、家庭と学校が共有して同じ方針で児童を育てていく。 ・家庭学習の習慣化を図る投げかけの工夫「家読(ちどろ)」のすすめ等 <p>●保幼小中の連携と接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員間の授業公開、1年生と園児、6年生と中学生の交流活動の実施。 <p>●地域や外部の人材活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部のコーディネーターによる保護者の教育活動への参画 ・オリンピックパラリンピック教育推進校～日本の伝統文化に対する興味関心、国際社会についての理解 ・第一中学校との連携や専門家の指導に直接触れる機会を設定 ～学ぶ楽しさや学習への関心を喚起、理解定着への手立て ・区図書館司書ボランティアによる整備～「読書センター」に加え「学習・情報センター」機能の充実